

当院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	ニトログリセリン舌下投与時の造影 CT における Adamkiewicz 動脈描出能向上についての検討(Adamkiewicz 動脈とは脊髄への重要な栄養動脈です)
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 天野哲也
研究責任者	(所属) 放射線医学講座 (職名) 講師 (氏名) 岡田浩章
研究の対象となる方	2024 年 3 月から 2030 年 10 月までに冠動脈バイパス術 (coronary artery bypass grafting : CABG) や経カテーテル大動脈弁留置術 (transcatheter aortic valve implantation : TAVI) などの術前評価として冠動脈と胸部～体幹部造影 CT を同時に撮像され、かつその半年以内に胸部～体幹部造影 CT を撮像された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ～ 2031 年 10 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 ニトログリセリン舌下投与によって脊髄への栄養動脈を同定しやすくなっているかどうか確かめ、その有効性を明らかにすることを目的としています。 〔利用方法〕 ニトログリセリン舌下投与の有無によって、造影 CT で脊髄への栄養動脈が見やすくなっているかどうか後方視的に比較検討します。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、CT 画像等を収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2029 年 10 月

は提供を希望しない 場合	31 日までに郵送，メール送信，窓口での受付，電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 放射線科 担当者：（職名）講師 （氏名）岡田 浩章 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22833） okada.hiroaki.026@mail.aichi-med-u.ac.jp